

## 2024（令和6）年度 活動実績報告書

余市町地域おこし協力隊 秋保 沙央里

令和5年度と同様に、NPO 法人北海道エコビレッジ推進プロジェクトを受け入れ先として、関係人口創出のための活動を行いました。

### ■NPO 法人北海道エコビレッジ推進プロジェクト支援活動

#### ・北海道エコビレッジ推進プロジェクト（余市エコビレッジ）について

NPO 法人北海道エコビレッジ推進プロジェクト（通称：余市エコビレッジ）は「持続可能な暮らしと社会」を創造するための技術や考え方を学び、広める団体です。食やエネルギーなど暮らしに必要なものをできるだけ自ら作り出すこと、それらを地域で共有すること、生産者と消費者、都市と農山村をつなげることなど、持続可能な暮らしやまちづくりを、現場での体験を通して包括的に学ぶことができる場所です。



\*余市エコビレッジの活動や最新の情報など、詳しくは下記リンクをご参照ください（右のQRコードからもリンクへ飛べます）

<https://lit.link/happynecollege>



#### ・学び・体験プログラムの企画・運営支援

余市エコビレッジや余市町をフィールドに、畑やブドウ栽培などの農作業体験や海・森での自然体験、エコビレッジの実践などを通して SDGs を学ぶ研修の企画・運営を支援しました。個人から学校、大学、企業・団体まで、幅広い年代、層の人々の受け入れを行っています。2024年のボランティア活動人数は延べ666人/日

#### ○教育機関

札幌市福移中学校、北海道大学、北海学園大学、慶應義塾大学、テマセック大学（シンガポール）、北海道シュタイナー学園いずみの学校、延暦寺学園比叡山高校 ほか

## ○企業・団体

秋田銀行みらい塾、スローフード北海道、共立国際交流奨学財団、日本国際協力センター (JICE)、大和日英基金、NZ アースソング・コウハウジングセミナー運営委員会 ほか



秋田銀行みらい塾 経営者研修



シンガポール Temasek 大学の訪問

### ・余市エコビレッジでのボランティア受け入れサポート

夏季に英国・カーディフ大学から海外ボランティアを受け入れ実施している「国際ワークキャンプ」をはじめ、一年を通して日帰りから短期、1ヶ月以上の中長期まで、エコビレッジでは国内外からのボランティアを受け入れており、受け入れサポートを行いました。2024年の中長期ボランティアは13名（日本・オーストリア・イギリスなど）で、日帰りを含むボランティア活動人数は延べ666名/日となりました。

### ・余市ワイナリーツアーのサポート



7月28～29日にエコビレッジ主催の余市ワイナリーツアーが行われ、全国からワインラバーの皆さんが集まりました。余市町登地区にある「登醸造」、「ドメヌ・タカヒコ」、「モンガク谷ワイナリー」の3つのワイナリーを巡り、造り手の皆さんから直にブドウの栽培方法やワインづくりのプロセス、北海道余市というテロワールのユニークさについてなどのお話を伺いました。ワインという切り口から余市を感じ、楽しく学ぶツアーとなりました。

### ■「余市町おためし地域おこし協力隊」ツアーの実施（余市町委託事業）

地方移住を希望する若い世代など、まだ移住に対して具体的なイメージを持っていない方々を対象に、余市町の暮らしや地域おこし協力隊の活動を体験できるツアーを夏、秋、冬、1泊2日ツアーの計4回実施しました。

余市町内の様々なスポットを訪れ、先輩移住者の訪問と交流、現役地域おこし協力隊員との交流会、レンタサイクルでのサイクリングツアーやワイナリー訪問と収穫体験など、余市町ならではの体験ができるプログラムを企画・実施。各ツアー最大4名で募集し、2024年度は春4名、秋3名、1泊2日3名、冬4名の計14名の参加がありました。

ツアー実施後に行なったアンケート結果からは参加者の満足度は高く、このツアーへの参加をきっかけに余市町地域おこし協力隊に応募する方や、実際に採用される方ができるなど、余市町の関係人口創出につながる活動となっています。



ツアー募集イメージ（左から、春、1泊3日、秋、冬ツアー）



春ツアー：サイクリングで町内めぐり



1泊2日ツアー：現役協力隊の實田さんの畑で作業体験



秋のツアー：ワイン用ブドウの収穫体験



冬ツアー：振り返りワークショップの様子

## ■余市町のまちづくりに関する活動

### ・「北海ソーラン祭り」地域おこし協力隊ブース設置

2024年7月6～7日に実施された「第56回北海ソーラン祭り」にて、余市町地域おこし協力隊員ブースを設け、子どもたちが楽しめる縁日ゲームを提供しました。



### ・余市西中学校「総合学習」での活動紹介

2024年5月11日に西中学校を訪問し、地域プロジェクトマネージャーの本間朋子さんとともに地域おこし協力隊の活動紹介を行いました。



### ・余市町旭中学校での活動紹介

2024年8月29日に旭中学校を訪問し、地域おこし協力隊の活動紹介を行いました。また、生徒の皆さんの学習発表会にも参加しました。



## ■自主活動

### ・フォルケホイスコーレをモデルとした学びのプログラム実践者合宿

成人を対象とした滞在型の学びのプログラムの企画運営について学ぶため、4月5～7日に北海道東川町で開催された実践者合宿に参加しました。

全国からデンマーク発祥の成人教育機関「フォルケホイスコーレ」をモデルとした学びの場づくりを実施している団体が集まり、活動内容や課題の共有、ネットワーク形成などを行ないました。(参加団体：一般社団法人 IFAS、北海道東川町 school for life compath、上川町そのままフォルケホイスコーレ、島根県つわのホイスコーレ、宮城県宮城フォルケ、長野県 NoMaFo、京都府京都どろんこ園、岩手県 Change Maker's College)



### ・地域を体験するツアーの視察

余市町の「おためし地域おこし協力隊ツアー」の企画・運営の参考とするため、11月30日に埼玉県小川町で開催された「小川町ぐるぐるツアー」を視察しました。このツアーはNPO 法人 小川町風土活用センターが主催し、小川町の地域おこし協力隊と町民ボランティアの協力で関係人口を増やす取り組みとして実施されており、1日という短い時間ながら、地域のことを深く知ることができるような内容となっていました。

